

東日本大震災 私一人でも出来る支援は何か

東北支援の会 代表 東京紀尾井町RC 垣見裕司

1 阪神淡路大震災にはなかった感覚 義援金だけでいいのか

3月は、会社HPで、大震災に関する石油業界情報の発信を開始
Yahoo と Google「東日本大震災 石油業界」検索で第一位
二大検索サイトで、かなりのご評価を頂いたが、それだけでいいのか
そんな時、自らも被災し母を亡くし、九死に一生を得たにも関わらず
一週間後には、SSを再開したすごい業界の友人と連絡がついた
支援物資持って被災地に激励に行こう。大船渡の友人のSSは右写真



2 第1回訪問 個人の活動から紀尾井町RCの支援事業に発展

第一回被災地訪問 4月18-19日 東北道全線開通の開通と北上市に
ホテルが予約出来たので東京から車で往復1200km、意気揚々と出発。
SS業界の友人、大船渡の丸新石油 新沼社長に私個人の支援物資、
大船渡市の避難所大船渡公民館へは紀尾井町RCの支援物資を提供
大船渡RC元会長鈴木氏のご尽力で可能に。後日市より感謝状

3 大船渡市の現実も確かに酷かったが

友人がお子様と命からがら逃げた裏山の高台と眼下の惨状
瓦礫の片隅の看板からそこが大船渡駅だったと分かる風景



4 人生で最も辛い経験となった 陸前高田市の惨状

陸前高田に行ってみると状況は一変。驚愕の国道45号
360度瓦礫すらないどこまでも続く果てしない更地。
襲ってくる恐怖、孤独感。そしてカーナビを見た時の衝撃。
亡くなられた方々の悲しみ。ここは、本当に「日本なのか」
1人の支援が紀尾井町RCの支援に拡大となった？ 甘かった
陸前高田の厳しい現実を把握し、1か月間 立ち直れず



5 5月支援、宅配便が友人のSSまで届くようになった

支援物資は何かがいい？ 牛丼、親子丼、すき焼き丼、そのSS経由で送る

6 第2回 6/13-14 訪問 高田松原の佐々木松男氏と出会う

友人水戸RC秋山氏が陸前高田RCの佐々木松男氏に中古車の提供
私はガソリン代を寄付。これも後日紀尾井町RCの活動となった

7 第3回 8/22-23 ローターリーの友人達と訪問

7月「東北支援の会」を設立。義援金募集というナーバスな事業
垣見油化のHPや、東京紀尾井町RCとも切り離して行動を開始した
ロータリーのクラブの友人や一般個人その他大口寄付も
含め200万円。陸前高田の高田活版社長 佐々木松男氏の
会社事務所とRC事務所の建設を支援している。



8 第4回 10/8-9 東京紀尾井町RCの有志で訪問

事務所復興のための義援金を贈呈

9 陸前高田RCの佐々木幹事を東京にお招きして座談会

約30名 複数のRCやロータリアンが集まり 義援金贈呈
現在の活動は 3.11 の 1周年を前にした義援金集めで
東北支援の会 HPアドレス 是非↓ご覧下さい



<http://www.kakimi.jp/4en.htm>